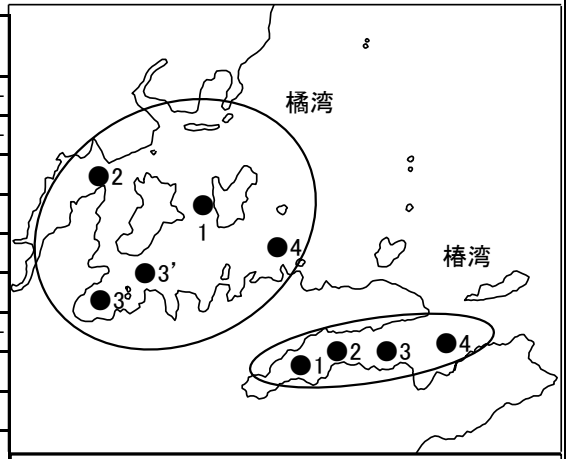
令和6年度 橘湾・椿泊湾 有害プランクトン調査 （7月17日調査） 徳島県水産研究課

St.	採水時刻	採水層（m）	水温（℃）	塩分	透明度（m）	細胞/mL シャットネラ アンティーカ	シャットネラ マリーナ	シャットネラ 区分不能	シャットネラ オバータ	シャットネラ グロボーサ	カレニア ミキモトイ	コクロディニウム ポリクリコイデス
1	09:41	0-5			3.6	−	−	−	−	0.03	−	−
		0	25.36	27.24		−	−	−	−	−	0.01	−
		1	24.06	29.57								
		5	22.70	31.76								
		10	21.94	32.13								
		B-1	21.94	32.13								
2	09:32	0-5			2.6	−	−	−	−	0.01	−	−
		0	25.73	25.88								
		1	24.42	29.01								
		5	22.85	31.69								
		B-1	22.75	31.76								
3	09:20	0-5			4.4	−	−	0.01	−	0.01	−	−
		0	25.46	27.18		−	−	−	−	−	−	−
		1	24.51	29.74								
		5	23.46	31.56								
		B-1	23.39	31.61								
3'	09:16	0-5			4.0	−	−	0.01	−	0.01	−	0.02
		0	25.13	28.15								
		1	24.38	29.88								
		5	23.39	31.52								
		B-1	22.58	31.95								
4	09:03	0-5			4.3	−	−	−	0.02	0.02	−	−
		0	24.91	27.71								
		1	24.36	30.02								
		5	23.18	31.58								
		10	22.35	31.99								
		15	21.82	32.27								
		B-1	21.69	32.36								



備　考

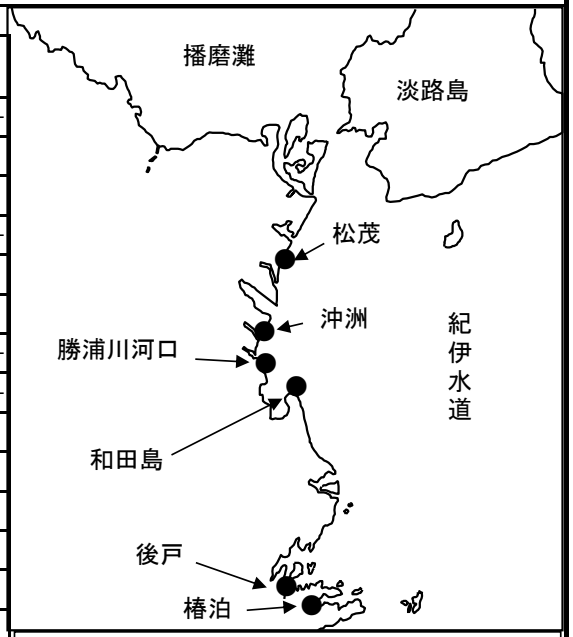
・有害種のシャットネラ属(区分不能、オバータ)、カレニア ミキモトイ、コクロディニウム ポリクリコイデスが検出されましたが、低密度でした。

・珪藻は橘湾、椿泊湾ともに、スケレトネマ属主体で、前回調査時から増加しました。

珪藻細胞数　橘湾St.1(0-5m):1,414cells/ml
椿泊湾St.3(0-5m):732cells/ml

令和6年度　橘湾・椿泊湾 有害プランクトン調査 （7月17日調査） 徳島県水産研究課

St.	採水時刻	採水層（m）	水温（℃）	塩分	透明度（m）	細胞/mL シャットネラ アンティーカ	シャットネラ マリーナ	シャットネラ 区分不能	シャットネラ オバータ	シャットネラ グロボーサ	カレニア ミキモトイ	コクロディニウム ポリクリコイデス
1	08:31	0-5			4.0	－	－	0.01	－	－	－	－
		0	24.36	29.48								
		1	24.15	29.77								
		3.5	23.85	30.62		－	－		－	－	－	－
		5	23.46	31.28								
		B-1	22.87	31.80								
2	08:37	0-5			5.8	－	－	0.01	－	－	－	－
		0	24.21	29.18		－	－	0.04	－	0.05	0.01	－
		1	24.12	29.84								
		5	23.40	31.37								
		10	22.63	31.97								
		15	22.04	32.23								
		B-1	22.04	32.23								
3	08:43	0-5			5.2	－	－	－	0.01	0.20	0.01	0.04
		0	24.45	28.63								
		1	24.19	29.26								
		5	23.29	31.31								
		10	22.67	31.94								
		15	22.24	32.14								
		B-1	21.89	32.33								
4	08:49	0-5			6.2	－	－	－	－	－	－	－
		0	24.36	28.07								
		1	24.18	29.25								
		5	23.03	31.52								
		10	22.48	31.91								
		15	22.16	32.08								
		20	21.91	32.29								
		B-1	21.81	32.39								



備　考

・椿泊湾において、ケラチウム フルカが最大で221.0 cells/ml検出されました。本種は赤潮化すると魚類を弱らせる可能性があります。今後の動向にご注意ください。